

## 校長先生の日記④②

### 第12回 卒業証書授与式が行われました

春の訪れを感じさせる、雲一つない澄んだ青空の門出の日を迎えました。

鈴木文雄信濃町町長をはじめ、町議会議長 佐藤 武雄様、教育委員のみなさまに参列いただき、第12回卒業証書授与式が5年ぶりの全校参加で行われました。

57名の9年生が、この信濃小中学校を卒業していきました。

その姿は、本当に立派で、参列しているすべての人が、応援したくなる姿でした。

この1年間、学校のために、後輩のために尽くしてくれた9年生。ありがとうございました。

みなさんの未来が、前途洋々であることを祈ります。

初めて参列した1年生をはじめ、在校生の姿も立派で、厳粛な式となりました。ご来賓のみなさまにも「素晴らしい式だった」「全校の合唱が素晴らしかった」「9年生の群青も素晴らしかった」とお褒めの言葉をいただきました。これもまた、これから先受け継がれていく姿となっていくと思います。信濃小中学校の令和5年度を締めくくるにふさわしい、また次の年度にも大きく期待がもてる卒業式となりました。

#### 式 辞

春の兆しを帯びた日の光が、北信五岳を美しく照らす、門出の朝を迎えました。

本日ここに、信濃町町長鈴木文雄様をはじめ多くのご来賓のみなさまにご臨席を賜り、令和5年度卒業証書授与式を挙げてまいりますこと、深く感謝申し上げます。

9年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

しばらく前から、みなさんに卒業証書を渡す日と思うと、胸がぐと詰まる日々が続いていました。それくらい、みなさんとのこの一年は私にとって思い出深く、みなさんを頼りにする毎日でした。四月、早々に行われた京都・奈良への

修学旅行。競争がとれ、仲もよく、気持ちのいいみなさんの姿に、こんなにも純粹で、頼もしい子どもたちがこの信濃小中学校では育つのかと、9年間の小中一貫義務教育学校の可能性を目の当たりにし、この最上級生とやら、素敵な学校を

作れるぞ！と確信したのを覚えています。予感の中の、最上級生としてのみなさんの働きは、これまで私たちのまえに立ちはだかっていたコロナという壁を打ち破り、新しい信濃小中学校の歴史の1Pを私たちに見せてくれました。特に素晴

らしかったのは、「秋桜祭」です。他の学校にはない、1年生から9年生のすべての児童生徒が楽しみ、充実感や達成感を味わうことができる文化祭を創れるのか？そんな心配をよそに、みなさんは見事に学校が一体となって楽しみ、全校が笑顔にな

る「秋桜祭」を創りあげてくれました。あの時感じた「この信濃小中学校を長野県いや日本いや世界いや宇宙中に自慢したい」という思いは今も変わっていません。全校が楽しいことの一つになる、充実感や達成感を一緒に味わう経験は、これからの信濃小中学校の伝統となり、目指す姿となります。そんな学校は、だれもが幸せで、笑顔あふれる学校になるに違いありません。9年生のみなさんは、そんな大切な礎を創ってくれました。本当にありがとうございました。

これからみなさんは、この信濃町を出て、新しい場所ですらなる活躍を遂げる生活が始まります。そんなみなさんをお願いしたいことが二つあります。一つ目は、「自分のやってみたい」を常に持ち続けるということです。これからは、これまでの子

えられる学びだけでは、自分自身の人生を切り開いていくことが難しい時代となります。自分から興味をもち、情報を集め、進む道を自分で見つけていける力こそが自分の夢を実現していくために必要になると考えます。ここ信濃小中学校で

もみなさんにそういう力をつけようと努力してきましたが、新しい世界でもますますその力に磨きをかけてください。二つ目は、苦しい時は助けを求めてください。もちろん自分の力で解決しようとするのは大切です。しかし、それでもど

うしようもないときは、家族でも仲間でも、ここ信濃小中学校でも助けを求めてください。いつでも信濃小中学校はここにいます。

最後にみなさんに、長野県出身のスケート選手小平奈緒選手が、スケートという一つの場所から、

まだ見ぬ世界に興味をもち、新たな出発を決意した時のことばを紹介します。

これから歩いていく毎日は、できないことからの始まりです。知らないことを知っていくことに感動できる毎日です。できなくなることもあるかも知れません。しかし、それもまた生きている心地なのです。想像するだけで、スリル満ちてワクワクします。

みなさんの毎日も、そんなスリル満ちてワクワクする日々であることを願います。そしてみなさんの未来が、夢に向かって大きく羽ばたき、次代を担うエースとして光り輝く「翔輝」たらんことを願います。

保護者のみなさま、本日はお子様のご卒業おめでとうございます。また、9年間という長きにわたり信濃小中学校の教育をお支えいただき、心から感謝申し上げます。これからも、信濃小中学校は、保護者、地域のみなさまとともに、未来ある子どもたちのために、ますます発展していく所存です。どうかこれからも、信濃小中学校を

応援していただきますようお願いを申し上げます、式辞といたします。

令和六年 三月 一五日  
信濃小中学校長 佐藤 利恵

保護者のみなさま、地域のみなさま、1年間学校をお支えいただき、ありがとうございました。

おかげさまで、令和5年度が、本日無事に修了いたしました。205日間の1年間の中で、子どもたちは確かな成長を遂げることができました。私たち教職員も、やり残したことはないという思いで、本日の卒業式を迎えることができました。やる気にあふれる子どもたちと、それを上まわる熱量で子どもたちに向き合う先生方と、いつも温かく見守ってくださる保護者、地域のみなさんと力を合わせて学校づくりができたことは、校長として幸せの極みです。本当にありがとうございました。

令和6年度は、令和5年度の振り返りから、新しい目標を立て、さらに尽力して参ります。春休みを経て、パワーを充電した子どもたちと、4月に会えるのが待ち遠しいです。

これからも、保護者、地域のみなさまには、学校をお支えいただきますよう、お願い申し上げます。

